

## (29) 淀川河口域底質調査

### 予算

民間受託

### 概要

- ・ 淀川河口域における二枚貝生息環境把握のため河口域の16点で水質・底質を測定した。
- ・ 水質・水深と底質測定結果：表1、2のとおり。
- ・ 水深：St. 2、9、10で2m未満であった。
- ・ 底層酸素飽和度：St. 7、12は40%未満の貧酸素状態であった。
- ・ AVS：St. 1、4、9、10は0.1mg/gDM未満であった。最高値を示したSt. 7では2.33mg/gDMとなった。
- ・ IL：St. 1、4、6、9、10は2%未満であった。。最高値を示したSt. 7では10.8%であった。
- ・ 泥分率：St. 4、6、9、10は10%未満であったが、St. 7では93.0%となった。
- ・ 中央粒径値 (MdΦ)：阪神高速湾岸線より上流部のSt. 1～6と阪神高速湾岸線近傍のSt. 9、10は3未満と値となり粗粒砂であることが示された。St. 7で最も高い6.60となり、細かい粒径となっていた。

### 調査方法

1. 調査定点  
淀川河口域の16点 (図1)
2. 調査期間と実施日  
2018年10月18日
3. 調査項目
  - (1) 水質・水深  
DOセンサー搭載メモリーCTD (RINKO-Profiler ASTD102、JFEアドバンテック社製) により  
底層の水温・塩分・酸素飽和度及び水深を測定
  - (2) 底質  
エクマンバージ採泥器 (採泥面積0.04m<sup>2</sup>) を用いて底質を採取し、AVS (酸揮発性硫化物)、IL (強熱減量) 及び粒度組成 (株式会社島津製作所製SALD-2300により測定) を測定した。

## 調査結果

3. 1) の結果は表1～4のとおり。

## 担当者

佐野雅基、山中智之、木村祐貴

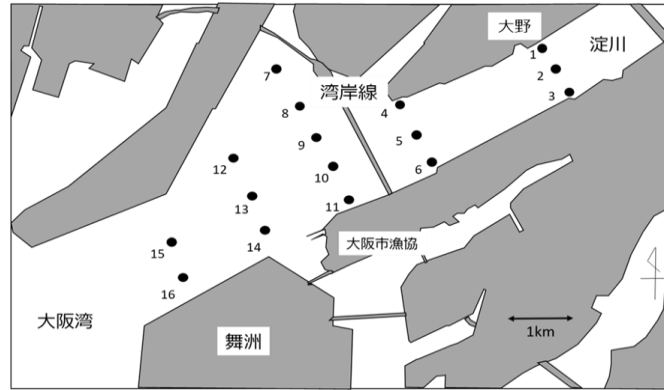


図1 調査場所

表1 水質・水深測定結果

St.	水深(m)	水温(°C)	塩分(psu)	酸素飽和度(%)	溶存酸素(mg/L)	備考
1	2.3	23.8	28.71	67.5	4.8	
2	1.9	23.6	28.37	79.4	5.7	
3	3.0	23.5	28.64	79.1	5.7	
4	2.3	23.4	28.96	87.0	6.2	
5	2.4	23.5	28.71	79.0	5.7	
6	2.6	23.3	28.80	87.2	6.3	
7	6.3	23.5	31.06	20.4	1.4	
8	3.0	23.6	30.53	68.8	4.9	
9	1.8	23.4	29.83	87.6	6.3	
10	1.8	23.4	28.60	104.4	7.5	
11	2.2	23.3	29.05	78.2	5.6	
12	4.6	23.5	31.08	35.1	2.5	
13	3.2	23.5	31.00	47.8	3.4	
14	2.8	23.5	30.66	46.8	3.3	
15	6.2	23.4	31.27	41.6	3.0	
16	5.2	23.4	31.22	47.5	3.4	

表2 底質測定結果

調査点 St.	泥温 °C	AVS mg/gDM	IL %	泥分率 %	中央粒径値 μm	中央粒径値 MdΦ	備考
1	23.6	0.09	1.8	21.9	149.8	2.74	
2	23.6	0.12	2.3	16.6	152.0	2.72	
3	23.1	0.41	3.8	28.6	152.0	2.72	
4	23.3	0.01	1.5	7.1	206.6	2.28	
5	23.5	0.15	2.8	18.7	156.9	2.67	
6	22.8	0.22	1.7	4.7	228.5	2.13	
7	23.3	2.33	10.8	93.0	10.3	6.60	
8	23.4	1.96	8.4	69.3	29.0	5.11	
9	23.2	0.04	1.7	8.9	144.2	2.79	
10	23.1	0.01	1.4	4.6	209.3	2.26	
11	23.2	0.84	3.9	45.0	73.0	3.78	
12	22.7	1.18	8.9	89.9	13.7	6.19	
13	23.2	1.03	9.9	57.6	50.1	4.32	
14	23.1	0.33	7.7	54.9	56.6	4.14	
15	23.1	1.30	9.8	83.7	18.7	5.74	
16	23.4	0.55	8.7	80.1	20.5	5.61	